

平成27年度調査研究活動実績

議員名 高橋 徹

①鏡川における河川環境向上に向けての調査研究

鏡川は高知市民の命の水であり、水質は悪化している。

特に高知市北山は土地利用についても都市計画区域外であり、山間は産業廃棄物の処理施設等、行政の目の届いていない事から、以前から地区住民の心配事となっている。

上流の谷間から流れ出る水は重倉川へ流れ込み、鏡ダムへそして下流で高知市の飲料水として利用されている。

鏡川はアユ漁でも盛んな川であるが、近年特にアユの変化が見られる。これは水質に問題がある事には間違いない。平成26年には様々な調査と現状を見る事ができたので、今後は一つ一つできる事から提言し改善に向けて提案を行っていく。

特に重倉川での降雨時に悪臭と黒い濁水の流出している箇所を地元住民からの通報で確認することができたことから、高知市環境対策課・高知署にも通報し徹底的に原因究明を行い改善を図ることができた。そのことによって重倉川の水質環境が大きく改善されてきたことが鏡川漁協の役員の方々からの報告があった。

②道路整備について

国道、県道等、県民からの情報提供を受けて、安全・安心のための道路整備について、視察調査を行い改善策等、意見を担当部局に情報提供を行う。

③観光振興調査研究

昨年に引き続き、平日、・休日の観光客の状況各施設の入場者数等、低迷する観光を打開する方策等、地元住民の方々の意見もお聞きし、県・市で総合的に施策を展開できるよう提言をまとめていく必要を強く感じている。

特に桂浜おける入り込み客数の減少が気になっていた。平成27年5月頃には桂浜観光施設の在り方について、検討委員会の提言を待つところであるが関係者の声を充分お聞きし高知県観光の拠点としての施設となるよう提案を行っていく。

27年度は桂浜の現在における津波からの被害を想定すると現状の位置を嵩上げする必要があることから、高知市からいくつかの検討案が出されている。店主からはそれぞれ言い分があり、私は店主に寄り添ってしっかり話を聞き、一人でも多くの店主が納得できる構想案となるよう力を注いでいく。

④高知県産、杉・ヒノキの需要拡大対策について

本県の林業振興対策については、さまざまな補助制度を確立させ林業者の確保並びに労働条件の改善、所得の向上等あらゆる手当を行ってきている。しかし需要の拡大にももっと力を入れるべきと考え、今年度も原木から製品として加工されている現場を視察し、需要

拡大の調査研究を行った。又、製材所の減少と労働者の高齢化には改めて驚きを感じたところであった。

議会での一般質問でも取り上げた県内の公共事業における県内産木材の需要を積極的に大きく展開することも求めたが、成果としては不十分で今後も更に強く求めていく。

⑤有害鳥獣被害対策について

中山間振興対策に積極的に取り組む本県にとって、林業・農業におけるイノシシ、シカの食害等は大きな被害をもたらしている。しかし、猟友会の捕獲実数はかなり向上してきている。これは捕獲報償金の制度も大きく影響しているが今後も国への十分な対策を講じる必要と考える。

特に長年の懸案であった狩猟税について大きな見直しがなされた。このことによって減り続けていた狩猟人口が、今年度は80人増となり大きな成果がみられましたが、まだまだ中山間地での被害が深刻さを増しているので引き続き調査研究を行っていく。